

『動物学の百科事典』お詫びと訂正 (2020. 3)

本書の記述に誤りがございました。謹んでお詫び申し上げますとともに、ここに訂正申し上げます。

●P131, 下から 7 行目

誤：ヤリハシハシドリ

正：ヤリハシハチドリ

●P135、下から 10 行目

誤：タンカニイカ湖

正：タンガニイカ湖

●P155 「脊椎動物の起源」 項の 6 行目

誤：カンブリア紀中期 (5 億 1000 万年－4 億 990 万年前) から

正：カンブリア紀中期 (5 億 1000 万年－4 億 9900 万年前) から

●P166、12 行目

誤：～外骨格と間接のある脚とされる。

正：～外骨格と関節のある脚とされる。

●P218、下から 6 行目

誤：細胞質 (核外) から核内へ、  
また、核内から細胞質へタンパク質が…

正：細胞質 (核外) から核内へ、また、核内から細胞質へタンパク質が…

●P238 「・発見の経緯」 項の 8 行目

誤：ごく微量 ( $10^{-11} \sim 10^9$  mol/L)

正：ごく微量 ( $10^{-11} \sim 10^{-9}$  mol/L)

●P296、下から 8 行目

誤：体腔は体壁と内臓の間に

正：体腔は体壁と内臓の間に

●P307 下から 3 行目

誤：～、背腹軸に沿って形成される (図 2C)

正：～、背腹軸に沿って形成される (図 2B)

●P336、14 行目

誤：前頭坂

正：前頭板

●P343、表 1

誤：多分可能

正：多分化能

●P364「感覚・運動・学習能力」4 行目

誤：また内示の三半規官や前庭～

正：また内示の三半規管や前庭～

●P369、11 行目

誤：大きくすることにより伝導速度を早くするように進化してきたと

正：大きくすることにより伝導速度を速くするように進化してきたと

●P381、3 行目

誤：これは塩味が  $\text{Na}^+$ 、酸味が  $\text{H}$  という～

正：これは塩味が  $\text{Na}^+$ 、酸味が  $\text{H}^+$  という～

●P423、34 行目

誤：1950 年代までの哺乳理での～

正：1950 年代までの哺乳類での～

●P474 下から 4 行目

誤：実際にグレリンや脳幹内に投与すると、

正：実際にグレリンやレプチンを脳幹内に投与すると、

●P539、2 行目

誤：リリサー

正：リリサー

●P539、11 行目

誤：ジズザグダンス

正：ジグザグダンス

●P679 図 1

誤：嗅覚受容体・共受容体からなるインチャネルが開いて、～

正：嗅覚受容体・共受容体からなるイオンチャネルが開いて、～

●P689、17 行目

誤：・低摩擦メカニズムは未明である。

正：・低摩擦メカニズムは不明である。